

TRC MARC作成の実際

平成 24 年度 NACISIS-CAT/ILLワークショップ

平成24年7月18日

株式会社図書館流通センター(TRC)

データ事業部データ部・部長 松木暢子
・学術情報ソリューション 伊藤洪二

TRC MARCの概要

□ 累積

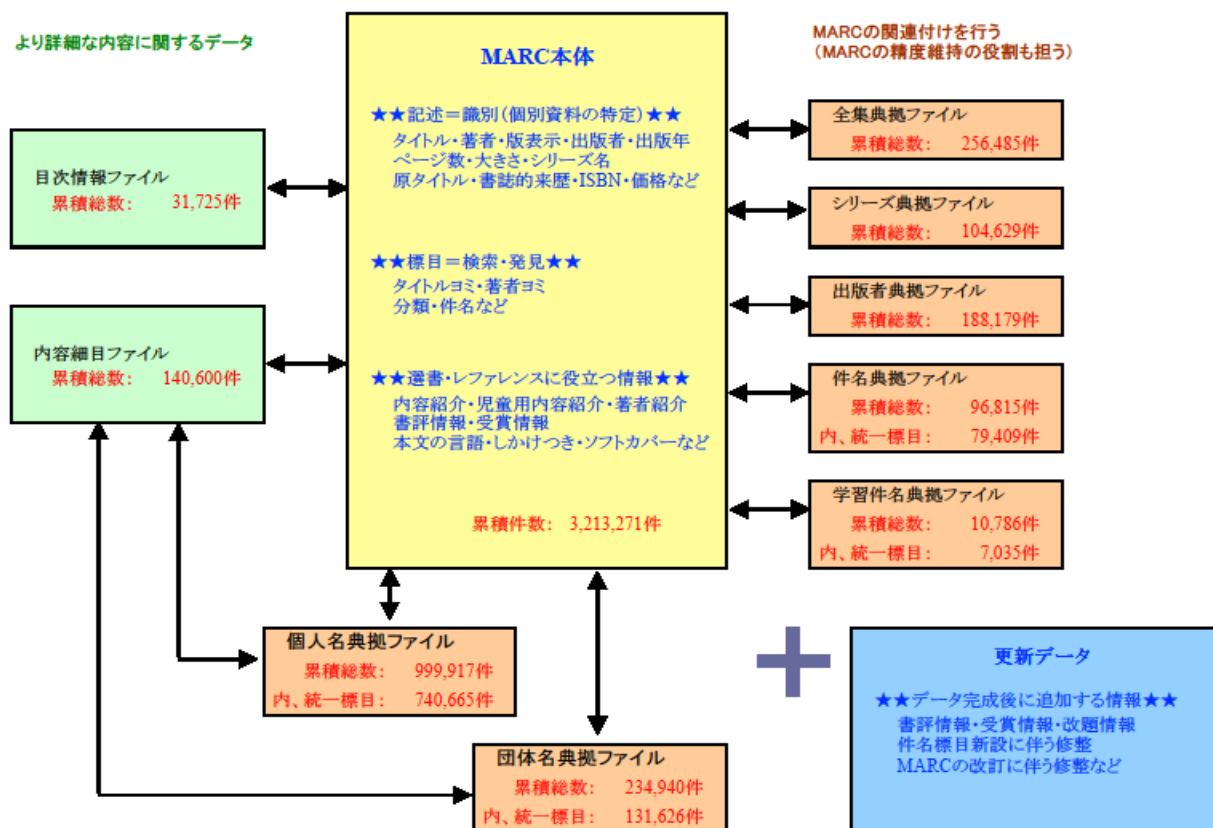
- 和図書新刊及び遡及 3,213,271件【2012/7/2現在】
 - 1982年より提供開始
 - 「TRC MARC入力及び累積件数表」をご参照ください。
- 雑誌 128,531件【2012/7/2現在】 -単冊単位

□ 採用 11,101館【2012/1/31現在】

- 公共図書館 2,741館
 - 大学・小中学校
 - OCLC
-

TRC MARCの概要

ーラインナップー



TRC MARCのスピード

原則として図書発売日前日にデイリーMARCを提供しています

出版流通(取次-書店)スケジュール		発売の前週							図書発売の週							図書発売の翌週				
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
出版取次	仕入れ受付	A	B	C	D	E														
	仕入れ契約/配本計算		A	B	C	D			E											
	配本修整/伝票決定			A	B	C			D	E										
	取次搬入				A	B			C	D	E									
	出荷					A			B	C	D	E								
書店	店頭発売日							A	B	C	D	E								

TRC MARC(新刊)作成スケジュール		発売の前週							図書発売の週							図書発売の翌週				
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
TRC	TRC見本入手		A	B	C	D			E											
	データ作成開始		A	B	C	D			E											
	目録・主題・典拠、入力・校正			A	B	C			D	E										
	校正・チェック				A	B			C	D	E									
	TOOLi掲載				A	B			C	D	E									
	最終チェック					A			B	C	D	E								
	デイリーMARC提供……夜 (典拠・内容細目・目次)						A		B	C	D	E								
	ウィークリーMARC提供……夜 (典拠・内容細目・目次)												A~E							
	累積分メンテデータ更新												◎							
	発注管理データ完成												A~E							
	『週刊新刊全点案内』発行																A~E			
	取次への見本返却								A	B	C	D				E				

TRC MARCの作成工程

■ ビデオ「TRC MARCができるまで」

見本到着 >>>

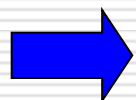
>> 登録 >> 撮影 >> 分類・件名 >> 学習件名 >> 目録

>> 内容紹介 >> チェック >> 完成 >>

>>> 見本返却

TRC MARCの特徴

- (1) 迅速 新刊図書発売日にはTRC MARCが提供されています。
- (2) 網羅 取次店経由の流通商品以外にもさまざまなルートで図書現物見本を収集し、年間9万件以上の新刊和図書を採録。
- (3) 情報量 1件当たり、最大72フィールド 330サブフィールドの項目を入力。
 - 『『Tタイプ』(和図書)データ要素一覧』をご参照ください。
- (4) 正確 図書現物からの作成〔取次店取扱の発売前現物見本を中心に新刊図書現物を入手〕
TRCデータ事業部、約100名の専門・専任スタッフが図書現物から、10回以上の校正を経て作成
人名・出版社名等は典拠コントロールを行い、典拠ファイルも提供しています。
- (5) 更新 受賞情報・書評情報を累積データに追加、改題情報の追加、新主題への対応等行っています。



情報と物流の一致、が最大のコンセプトです。

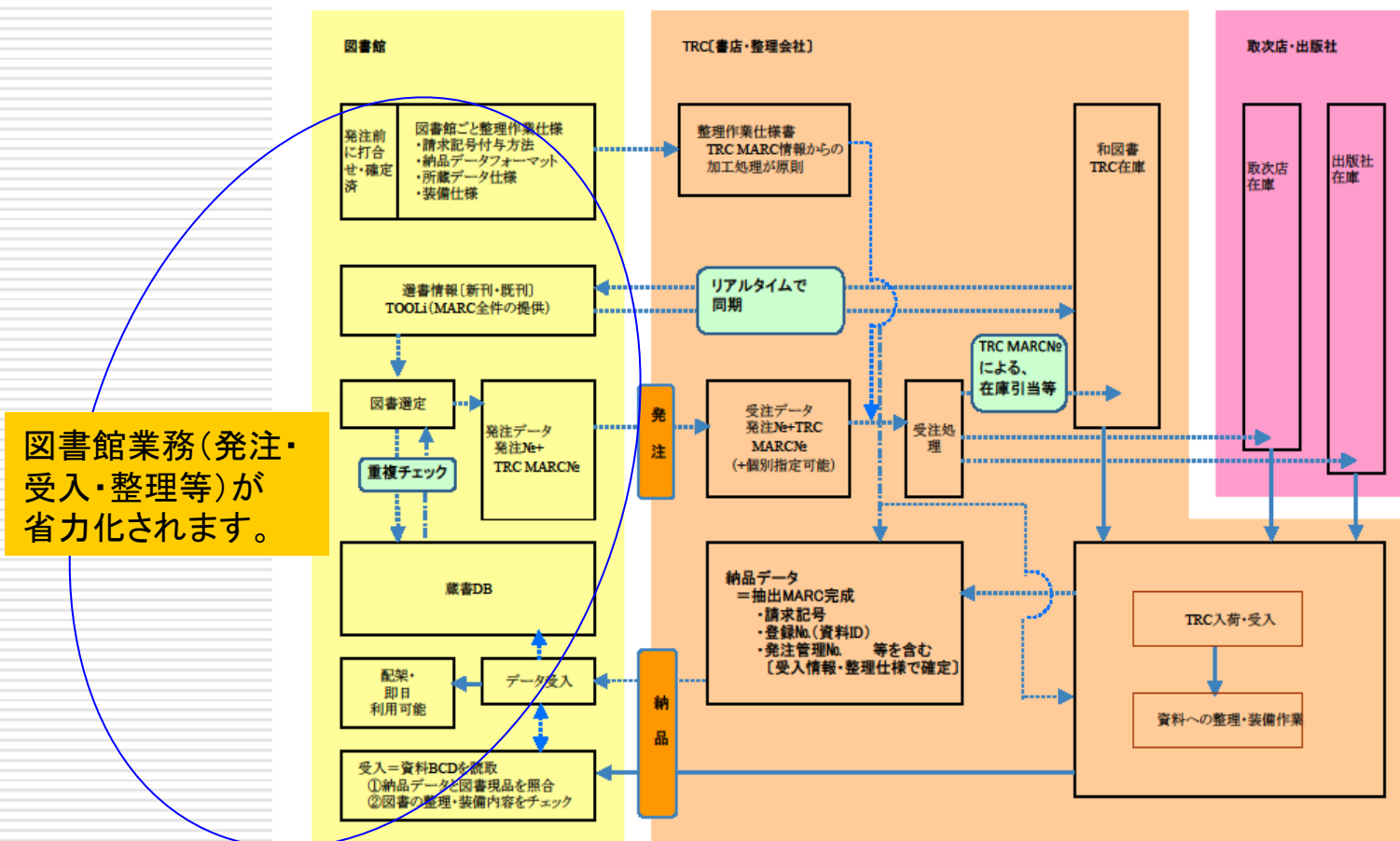
TRC MARCのコンセプト

情報と物流の一致

- 提供される図書等資料の情報は、在庫等物流情報と結びついていること
 1. 選書・発注で使用できる＝資料の確保の可能性が判別できること → 在庫の有無等商品状況と連動した情報であること
 2. 入手可能なものと情報は一対一で対応していなければならない
 3. 必要な資料かどうか、可能な限り正確に特定できること
 4. 選択するためには、まず網羅的な情報提供がされなければならない
 - 選書・発注・受入のための情報
 1. 可能な限り、資料の実際が把握できる情報を提供することで、網羅的な出版状況の把握と選定が可能になる
 - 「図書見計らい」ではすべての資料の見本を持ちこむことはできない
 2. 流れている物流[お客様発注-書店受注・集品(出版社・取次店等)-書店入荷・(契約によっては整理他)伝票処理-納品]を把握するためには、個別・同定が可能な管理データが必要になる
 - 資料検索は、多様なアクセスに対応できる正確なデータを前提とする。
-

TRC MARCを使った

選書・発注、整理、受入フロー(例)



NACSIS-CAT事前登録作業での課題

□ TRC MARC作成とNC登録のタイミングのずれ

- “事前登録”より早い“参加館”による登録が、21.26%あったこと
- 参照MARCとしてNCに取込まれた後でなければ、登録作業ができず、図書現物見本がTRCにある期間(TRC MARC作成中)に登録ができなかったこと

□ NCとTRC MARCの適用細則の違い

- 情報源取扱の違い

□ TRCの課題

- TRC MARC作成のための図書現物見本収集で、全国出版流通市場に出回らない、地方出版物・刷部数の少ない学術出版物などの早期収集
- TRC MARCのNCフォーマットへの自動変換

□ TRCからの提案

- TRC MARC作成週中のNC登録＝デイリーMARCのご提供と参照MARCとしてのデイリー取込
-

NACISIS-CAT事前登録作業での課題参考資料

TRC MARC作成と実装実験のスケジュール

「『丸善新刊案内』(2010年2月号～4月号)掲載和図書の書誌レコード事前登録作業時のスケジュール(平成22年1月～3月試行的実施)」

出版流通(取次-書店)スケジュール		発売の前週							図書発売の週							図書発売の翌週				
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
出版 取次	仕入れ受付	A	B	C	D	E														
	取次搬入				A	B			C	D	E									
	出荷				A	B			B	C	D	E								
書店	店頭発売日								A	B	C	D	E							

TRC MARC(新刊)作成スケジュール		発売の前週							図書発売の週							図書発売の翌週				
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
TRC	TRC見本入手		A	B	C	D			E											
	データ作成開始		A	B	C	D			E											
	目録・主題・典拠、入力・校正			A	B	C			D	E										
	校正・チェック				A	B			C	D	E									
	最終チェック					A			B	C	D	E								
	デイリーMARC完成一週 (典拠・内容細目・目次)					A			B	C	D	E								
	ウィークリーMARC完成一週 (典拠・内容細目・目次)												A~E							
	累積分メンテデータ更新												◎							
	発注管理データ完成												A~E							
	『週刊新刊全点案内』発行 取次への見本返却								A	B	C	D				E	A~E			

実証実験スケジュール		発売の前週							図書発売の週							図書発売の翌週				
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
TRC	チェック用リスト出力					A			B	C	D	E								
	現物見本とNC仕様でのチェック								A	B	C	D	E							
NII	参照MARC取込																A~E			
TRC	NC登録																		A~E	